

呼吸器科後期臨床研修医（レジデント）カリキュラム

■概要

呼吸器科では、2年間の初期臨床研修では十分に修得できなかった内科医としての知識、診療技術を充実するための基礎作りを行い、専門分野である呼吸器内科医としての知識、診療技術の修得を目標とする。

■一般目標

- 1) 呼吸器科医として多岐にわたる呼吸器診療に必要な臨床経験、知識を身に付け、急性期呼吸器疾患に幅広く対応する。
- 2) 呼吸器専門医として必須である日本内科学会認定医を取得する。
- 3) 日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本肺癌学会などの関連学会で発表を行い、臨床論文を作成する。

■個別目標

- 1) 聴診、打診から身体所見を正確に表現でき、バイタルサインの変化から、患者の病態把握、重症度の診断ができる。
- 2) 胸部レントゲン、CT等で解剖学的構造を理解し、異常陰影の性状について表現し、病態が理解できる。
- 3) 術者として気管支鏡を操作でき、所見を正確に表現し、検体採取、治療としての処置ができる。
- 4) 胸腔穿刺、ドレナージ、気道確保、気管内挿管等の基本的手技ができる。
- 5) 呼吸器疾患に対する薬剤の使用についてガイドラインを理解し薬剤の選択ができ、その効果、副作用、禁忌を説明できる。
- 6) 呼吸器救急患者（呼吸不全を伴う病体）に対する治療を行うことができる。

■主要な呼吸器疾患として以下の疾患、病体を後期研修中に経験する。

- 1) 肺癌などの腫瘍性肺疾患
- 2) 肺炎、抗酸菌感染、真菌症などの感染性呼吸器疾患
- 3) 肺気腫などの気道閉塞性疾患
- 4) 気管支喘息に代表されるアレルギー性肺疾患
- 5) びまん性肺疾患（間質性肺炎、過敏性肺炎、サルコイドーシス等）
- 6) 自然気胸、胸水などの胸膜疾患
- 7) 人工呼吸器を必要とするような呼吸不全など
- 8) 睡眠時無呼吸症候群

■研修方法

入院患者受け持ち

約10名前後の入院患者を受け持つ。

■週間スケジュール

曜日	午前	午後
月曜日		呼吸器外科・放射線科と合同症例検討会
水曜日	気管支内視鏡検査	呼吸器外科合同での症例検討会
木曜日		気管支内視鏡検査
金曜日	総回診	

上記以外は病棟勤務が主体である。

■研修記録と終了評価

- 1) 後期臨床研修医（レジデント）は病歴抄録を指導責任者に提出し、校閲を受ける。年間受け持ち症例のリストを提出する
- 2) 指導責任者は後期臨床研修医（レジデント）の目標達成状況を評価し、2年終了時に研修委員会において修了判定する。

■専門医等申請資格

星ヶ丘厚生年金病院は日本内科学会認定施設、呼吸器内視鏡学会認定施設であり、内科学会認定医、専門医、呼吸器内視鏡学会専門医取得のための研修が可能である。